

原発関連の動き

(赤：国外関連、青：地震など関連情報、緑：事故など)

「2022 月 6 月」

2022年

- 6 月 1 日 中国南西部の四川省で、マグニチュード 6.1 の地震が発生した。
- 6 月 1 日 午前 10 時 19 分ごろ、日高地方西部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは 4.3 と推定。北海道千歳市で震度 3。
- 6 月 1 日 運転停止から 10 年以上が経つ泊原発 1～3 号機をめぐる、札幌地裁が 5 月 31 日、津波対策の不備を理由に運転差し止めを命じる判決を言い渡した。原子力規制委員会の更田豊志委員長が、特定の発電所は念頭がないとした上で、「のりくらり右往左往して、一向に真面目に立証する姿勢が見られないのであれば、審査の中断やいったん不許可という判断だってありうる」と述べた。
- 6 月 1 日 (情報錯綜)ウクライナメディアによると、国営の原発運営会社「エネルギーアトム」の幹部が、ザポリージャ原発に爆発物などが置かれているとして「安全を保証できない状態だ」と危機感を示した。
- 6 月 2 日 島根県の丸山達也知事が、中国電力島根原発 2 号機再稼働への同意を県議会本会議で表明した。
- 6 月 2 日 福島第一原発から 20～30 キロ圏の旧緊急時避難準備区域で生活していた福島県田村市都路町地区の住民ら 545 人が、東電と国に損害賠償を求めた訴訟の判決で、福島地裁は、東電に約 12 億円の賠償を命じた。国の責任は認めなかった。
- 6 月 2 日 2021 年、女川原発でボルトなどの部品が使用済み燃料プールに落下した問題などを受け、宮城県などが女川原発への立ち入り調査を行った。3 号機では、去年 2 月から 5 月の間に起きた複数の地震により、点検用の足場に使われていたボルトなどの部品 89 個が落下し、一部が使用済み燃料プール内で見つかりました。89 個のうち、今年 3 月までに 32 個が回収された。調査では未回収の 57 個の状況などを確認した。
- 6 月 3 日 日本時間午前 3 時 54 分ごろ、フィリピンのミンダナオ島沖でマグニチュード 5.6 の地震が発生した。
- 6 月 3 日 日本原子力発電が、東海第二原発で事故が発生した場合の放射性物質の拡散シミュレーションを、年内に茨城県へ提出する方針を示した。加えて、新規制基準に基づく同原発の安全対策工事現場を報道陣に公開した。

- 6月3日 (情報錯綜)ウクライナ国防省の諜報部門の情報総局が、ザポロジエ原子力発電所で予備部品が極端に不足しており、運転の安全性が脅かされていると発表した。また、多量の爆発物が置かれ、危険な状況になっていると伝えた。
- 6月3日 13時29分ごろ、石川県能登地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.0と推定。石川県珠洲市で震度3。
- 6月5日 福島第一原発事故に伴う避難者が東電に損害賠償を求めた集団訴訟で、東電に対する賠償命令が最高裁で確定したのを受け、東電ホールディングス福島復興本社の高原一嘉代表らが、原告・弁護団と面会し、小早川智明社長名で謝罪した。
- 6月5日 日本時間午後8時38分ごろ、アラスカ州アリューシャン列島のニア諸島沖でマグニチュード6.4の地震が発生した。
- 6月6日 株主総会後に退任する予定の関西電力の森本孝社長が、福井県内の原発から出る使用済み核燃料を県外へ搬出する問題をめぐり、「解決に全力投球する」と述べたものの、搬出先の検討状況については具体的な言及を避けた。
- 6月7日 「運転差し止め」の判決が出された北電の泊原発を原子力規制委員会が訪れ、津波対策の現状を視察した。
- 6月7日 IAEAが、ウクライナのチョルノービリ(チェルノブイリ)原子力発電所の放射線測定器がロシアの占領以来、初めて復旧し、IAEAの監視システムにデータを送信しているとした。放射線レベルは正常だという。
- 6月8日 運転中の高浜原発4号機の発電を停止し、定期検査を開始した。原子炉容器供用期間中検査を実施するため、検査期間は通常より長い約5カ月間。
- 6月8日 日本時間14時32分ごろ、インドネシア・西スラウェシでマグニチュード5.8の地震が発生した。
- 6月8日 日本時間21時25分ごろ、ロシア・イルクーツク州バイカル湖の水域でローカル・マグニチュード8.3の地震が発生した。
- ※ ローカル・マグニチュードとは、「リヒタースケール」とも呼ばれ、地震の規模を表すマグニチュードの別称。米国の地震学者チャールズ＝リクターが考案した。
- 6月9日 フランス検察が、老朽化した南東部トリカスタン原発での誤作動などの事案を原発運営企業が隠蔽していたとする告発を受け、捜査に着手した。
- 6月10日 午前11時14分ごろ、浦河沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.8と推定。北海道新冠町、浦河町、様似町、新ひだか町、青森県階上町で震度3。

- 6月10日 福島第一原発1、2号機間にある高濃度の放射性物質で汚染された配管の撤去作業を18日ぶりに再開し、2本目の配管の切断を始めたが、トラブルで中断した。チェーン状の切断器具が配管に食い込み、動かなくなった。
- 6月11日 川内原発2号機が、定期検査を終了させ、原子炉を起動し運転を再開させた。期間中に燃料集合体157体のうち40体を取り換えた。
- 6月12日 午前5時18分ごろ、長野県北部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは2.7と推定。長野県大町市北で震度3。
- 6月12日 21時46分ごろ、福島県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.1と推定。宮城県石巻市、角田市、岩沼市、登米市、蔵王町、丸森町、山元町、福島県福島市、相馬市、二本松市、田村市、福島伊達市、本宮市、桑折町、川俣町、天栄村、福島広野町、檜葉町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、新地町で震度3。
- 6月13日 午前1時57分ごろ、福島県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.3と推定。福島県広野町、檜葉町、富岡町、大熊町で震度3。
- 6月13日 柏崎刈羽原発で起きたIDカードの不正使用などが発覚し、核セキュリティの不備などが改善されているか確認するため、第三者委員会が現場を視察しました。
- 6月13日 20時18分ごろ、西表島付近を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.5と推定。沖縄県竹富町で震度3。
- 6月14日 島根原子力発電所2号機の再稼働について、島根県の丸山知事が中国電力に、原子力安全協定に基づく「事前了解」を正式に伝えた。
- 6月14日 IAEAが、ウクライナのザポリージャ州にある原子力発電所から再びデータを受け取ったと明らかにした。現在、ロシアが実効支配する地域にある。
- 6月15日 午前1時33分ごろ、宮城県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.2と推定。宮城県名取市で震度3。
- 6月17日 0時51分ごろ、徳島県南部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.8と推定。徳島県阿南市で震度4、兵庫県洲本市、南あわじ市、和歌山県湯浅町、由良町、徳島県徳島市、鳴門市、小松島市、吉野川市、美馬市、徳島三好市、勝浦町、上勝町、佐那河内村、石井町、神山町、那賀町、牟岐町、美波町、海陽町、松茂町、北島町、藍住町、つるぎ町、東みよし町、香川県高松市、さぬき市、三豊市、高知県高知市、高知香南市、東洋町で震度3。
- 6月17日 福島第一原発事故で避難した住民らが、国に損害賠償を求めた4件の訴訟の上告審判決で、最高裁第2小法廷は、「津波対策が講じられていても事故が発生した可能性が相当ある」とし、国の賠償責任はないとする統一

判断を示した。裁判官 4 人中 3 人の多数意見で、三浦守裁判官は「原子力安全・保安院(当時)と東電が法令に従って真摯な検討を行っていれば事故を回避できた可能性が高い」として国の責任を認める反対意見を出した。

- 6 月 17 日 23 時 35 分ごろ、福島県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは 4.8 と推定。福島県いわき市、相馬市、田村市、古殿町、福島広野町、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町で震度 3。
- 6 月 19 日 15 時 08 分ごろ、石川県能登地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは 5.2 と推定。石川県珠洲市で震度 6 弱、石川県能登町で震度 5 弱、石川県輪島市で震度 4、新潟県上越市、富山県高岡市、氷見市、射水市、舟橋村、石川県七尾市、羽咋市、かほく市、志賀町、中能登町、穴水町、福井県あわら市で震度 3。
- 6 月 19 日 18 時 28 分ごろ、茨城県北部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは 4.3 と推定。福島県いわき市、古殿町、茨城県日立市、大子町で震度 3。原子力規制庁によると、石川県志賀町にある志賀原子力発電所 1、2 号機をはじめとする各地の原発で、地震に伴う異常は確認されていないという。
- 6 月 20 日 午前 9 時 18 分ごろ、宗谷地方北部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは 4.4 と推定。北海道天塩町、豊富町、幌延町で震度 4。
- 6 月 20 日 午前 10 時 31 分ごろ、石川県能登地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは 5.0 と推定。石川県珠洲市で震度 5 強、石川県能登町で震度 4、新潟県上越市、富山県富山市、射水市、舟橋村、石川県七尾市、輪島市で震度 3。
- 6 月 20 日 14 時 50 分ごろ、石川県能登地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは 4.2 と推定。石川県珠洲市で震度 4。
- 6 月 21 日 午前 10 時 42 分ごろ、石川県能登地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは 4.2 と推定。石川県珠洲市、能登町で震度 3。
- 6 月 21 日 16 時 15 分ごろ、小笠原諸島の父島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは 6.2 と推定。
- 6 月 22 日 日本時間午前 2 時 54 分ごろ、アフガニスタンでマグニチュード 6.1 の地震が発生した。南東部パクティカ州では少なくとも 255 人が死亡、155 人が負傷した。これまでに犠牲者が 1100 人以上に達し、1600 人以上が負傷したことが分かった。
- 6 月 23 日 全国漁業協同組合連合会が通常総会を開き、福島第一原発の汚染処理水の海洋放出に「断固反対であることはいささかも変わらない」とする特別決議を全会一致で採択した。海洋放出反対の決議は 3 回目。

- 6月23日 東京電力が、福島第一原発1号機の原子炉格納容器内部調査で、「燃料デブリ」を含むとみられる堆積物について、一部の厚さが約1メートルだったと発表した。
- 6月24日 日本原子力研究開発機構が、廃炉作業中の新型転換炉ふげんの使用済み核燃料を再処理してもらう契約をフランス企業と結んだ。契約は燃料の輸送と再処理で2億5千万ユーロ(350億円)。
- 6月25日 日本時間午後12時37分ごろ、イラン南部でマグニチュード5.5の地震が発生した。
- 6月26日 日本時間11時02分ごろ、ペルー沿岸でマグニチュード5.7の地震が発生した。
- 6月26日 日本時間23時20分ごろ、北アフリカ・アルジェリアのオラン県でマグニチュード5.1の地震が発生した。
- 6月26日 21時44分ごろ、熊本県熊本地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.7と推定。熊本県美里町で震度5弱、熊本県熊本西区、熊本南区、八代市、山鹿市、宇城市、嘉島町、益城町、甲佐町、氷川町で震度4、福岡県嘉麻市、熊本県熊本中央区、熊本東区、熊本北区、玉名市、菊池市、上天草市、合志市、和水町、大津町、菊陽町、熊本高森町、西原村、南阿蘇村、御船町、山都町、宮崎県延岡市、椎葉村で震度3。
- 6月27日 全国漁業協同組合連合会の坂本雅信会長が、福島第一原発から出る放射性物質トリチウムを含む処理水の海洋放出について「断固反対はいささかも変わらない」とする要望書を経済産業省へ提出した。
- 6月27日 関西電力が、定期検査中の大飯原発4号機で2次系配管の一部に不具合が見つかったと発表した。再稼働時期を7月上旬から下旬に先送りすることになった。
- 6月29日 午前9時20分ごろ、有明海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.7と推定。熊本県熊本西区、上天草市震度3。
- 6月30日 四国電力が、伊方原発で貯蔵する新燃料52体を英国に搬出する計画を安全協定を結ぶ県、伊方町、関係漁協に事前連絡した。7~9月に伊方原発専用岸壁を出発し、英国ランカシャー州プレストンの成型加工工場に海上輸送する。
- 6月30日 日本時間午前2時40分ごろ、フィリピンのルソン島沖でマグニチュード5.9の地震が発生した。